

国立循環器病研究センターで病理解剖を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめたものです。この研究のために、新たな検査等は行いません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】 当院病理部にて 2025 年 11 月 30 日までに病理解剖後の冠動脈病理組織評価(院外からの評価依頼を含む)を施行された方、および 2016 年 8 月 1 日～2025 年 11 月 30 日までの期間に当院心臓血管内科において冠動脈粥腫切除術による経皮的冠動脈インターベンションを施行された方

【研究課題名】 急性冠症候群の発症機序解明を目指した冠動脈病理解析研究

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医師 邑井洸太

【研究の目的・意義】 冠動脈組織の病理学的検討を行うことにより、急性冠症候群を中心とする冠動脈疾患の病態を解明するため。本研究により、動脈硬化の進展過程や冠動脈血栓症の発生メカニズム等、急性冠症候群の発症機序に関する新たな知見が得られれば、その有効な治療法・予防法の確立につながる可能性があります。

【利用する生体試料・診療情報】 冠動脈病理組織標本、冠動脈病理組織像、診断名、死亡原因、年齢、性別、身長・体重、Body Mass Index、冠危険因子、喫煙・飲酒歴、内服薬、既往疾患、血液・尿検査データ(肝・腎機能、脂質代謝、糖代謝、貧血、炎症所見、BNP、甲状腺ホルモン、尿所見)、非侵襲的画像生理検査(CT・MRI・心エコー画像所見、心電図)、冠動脈造影所見、血管内イメージング所見(血管内超音波、光干渉断層像)、予後情報、心血管および出血イベントの有無

【生体試料・情報の管理責任者】 国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2030 年 3 月 31 日まで(予定)

生体試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 12 月 16 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト
(<https://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した生体試料・情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはできません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医師 邑井洸太
電話：06-6170-1070